



地域から広がるワンヘルス /

「脱炭素チャレンジカップ2026」で 有富区の「ZEB自治公民館建設の取り組み」が環境大臣賞金賞を受賞



脱炭素チャレンジカップ
ホームページ



CO2排出量の実質ゼロを目的とした、地球温暖化防止に関する優れた地域活動を表彰する全国大会「脱炭素チャレンジカップ2026」において、有富区（大江校区）のZEB自治公民館建設の取り組みが「環境大臣賞 金賞（市民部門）」を受賞しました。全国230件の応募の中から選ばれたもので、2月20日に東京科学未来館で授賞式が行われました。



ZEB(ゼブ)とは

Zero Energy Building(ゼロ・エネルギー・ビルディング)の略称です。LEDや断熱性で建物のエネルギー消費を最小限に抑え、必要な分を太陽光発電などから創り出すことで、エネルギー収支を「実質ゼロ」にすることができます。



環境政策課
副島

有富区公民館



〈建て替え前〉



〈建て替え後〉

屋内外ともにバリアフリーに対応し、太陽光パネルと蓄電池を導入しました。災害時には避難所としても利用できます。区民や関係者が一丸となって取り組み、実現することができました。



有富区 区長
古川晋紹さん

2025年3月に建設されたこの自治公民館は、電力を自給自足できるZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)の認定を受けています。

ルフランに「ワンヘルスデジタルサイネージ」を導入

「福岡県ワンヘルス啓発施設設備等整備補助金」を活用し、ルフランにデジタルサイネージ(電子看板)を2台導入しました。カフェやオフィスを利用する人に、本市のワンヘルスの取り組みを発信していきます。



省エネルギーで環境を守りながら、誰もが心地よく過ごせる場所づくりにもつながるZEB公民館。未来の暮らしと健康を守るこの取り組みは、まさにワンヘルスですね！



ワンヘルス(One Health)とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健康(健全性)」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。

「ワンヘルス」ってなんだろう？ みやま市が取り組む 特集



なぜ「ワンヘルス」が大切なの？

新たな感染症の多くは、動物から人へと感染することが知られています。また、気候変動や自然環境の変化は、人の健康や生活にも影響を及ぼします。人・動物・環境の3つを一体的なものとして守っていくことが大切で、どれか1つだけを守ってもだめなんです。



ワンヘルスナビゲーター
大坪

ワンヘルスは身近なところに /

動物の健康

▶ 犬や猫のワクチン接種、ノミ・マダニの駆除は、ペット自身の病気を防ぐだけでなく、ノミ・マダニを介した「SFTS(重症熱性血小板減少症候群)などの重篤な感染症が人にうつるのを防ぎます。



人の健康

- ▶ こまめなうがい・手洗いが感染症を防ぎます。
- ▶ 運動は体力を高め、心身の健康を保持・増進してくれます。



環境の健全性

- ▶ 正しくゴミを分別し、資源を循環させることは、環境を守ることにつながります。
- ▶ 地産地消は、地域の豊かな自然と食文化を守るだけでなく、運搬時のCO2排出量を抑えます。



身近なことから始めてみませんか？

「ワンヘルス」は、特別に新しいことを始める必要はありません。日々の何気ない行動が「ワンヘルス」につながっていることを意識し、今の自分のできることから始めてみませんか？